

都市型集合住宅の長期耐用 ・再生技術に関する講演会

住宅の寿命の短さのため資源浪費や廃棄物増大が問題となっている一方で、これまでに供給されたマンションの老朽化が課題となっています。こうした中で、建物自体が百年以上の長期耐用性を持つこととともに、増大する老朽化したマンションの建替えや改修が円滑に進むことを目指して実施された国土交通省総合技術開発プロジェクト(マンション総プロ)の研究成果を報告します。本研究成果は6月に制定された「マンションの建替えの円滑化等に関する法律」にも反映されています。

日時

平成14年12月20日(金) 13:00 ~ 16:40

13:00	開会あいさつ 山内 泰之 独立行政法人建築研究所理事長
13:05	マンション総プロの概要説明 小林 秀樹 国土技術政策総合研究所住宅研究部研究官
13:20	課題1「長期耐用型集合住宅の建設・供給・改修技術の開発」 藤本 秀一 建築研究所建築生産研究グループ主任研究員
14:20	課題2「ストックの長命化技術の開発」 濱崎 仁 建築研究所材料研究グループ主任研究員 長谷川拓哉 建築研究所材料研究グループ主任研究員
15:35	課題3「円滑な建替え手法の開発」 長谷川 洋 国土技術政策総合研究所住宅計画研究室主任研究官
16:35	閉会あいさつ 村上 純一 国土交通省国土技術政策総合研究所副所長

会場

住宅金融公庫すまい・るホール



住宅金融公庫本店 1階
東京都文京区後楽1-4-10

最寄り駅

JR総武線水道橋駅西口下車徒歩3分
都営地下鉄大江戸線飯田橋駅下車徒歩3分
都営地下鉄三田線水道橋駅下車徒歩5分
都営地下鉄丸の内線・南北線後楽園駅下車徒歩7分
都営地下鉄有楽町線・東西線飯田橋駅下車徒歩10分

参加

定員295名 [無料]

お申し込み方法：裏面をご参照下さい。(申込み先着順)

お問合せ先：

国土交通省国土技術政策総合研究所 住宅計画研究室 亀村幸泰

TEL:0298-64-4228

FAX:0298-64-6771

e-mail: us@nilim.go.jp

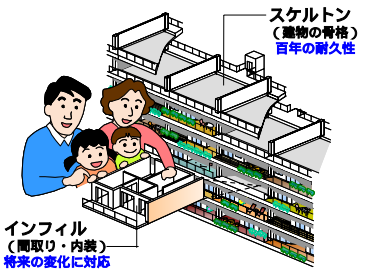
独立行政法人建築研究所 建築生産研究グループ 藤本秀一

TEL:0298-64-6617

FAX:0298-64-6772

e-mail: koen@kenken.go.jp

講演概要

<p>課題 1</p>	<p>「長期耐用型集合住宅の建設・供給・改修技術の開発」 ~ 長期耐用性を有するスケルトン住宅の実現のための研究開発 ~</p> <p>スケルトン住宅の計画技術 長期耐用性をもつスケルトン住宅のための計画技術の解説</p> <p>スケルトン住宅による新住宅供給手法 スケルトン分譲やスケルトン賃貸等、S I 分離を活かした新たな事業手法の解説</p> 
<p>課題 2</p>	<p>「ストックの長命化技術の開発」 ~ 既存マンションの適切な評価と改修による長命化手法の研究開発 ~</p> <p>既存マンションの劣化度調査・診断技術 既存マンションの躯体部分の劣化度を判定する技術の解説</p> <p>既存マンションの改修技術 マンションの補修・改修技術の解説</p>
<p>課題 3</p>	<p>「円滑な建替え手法の開発」 ~ 多数の権利者間の合意形成を図る必要がある 分譲マンション建替え問題の解決のための研究開発 ~</p> <p>マンション建替えに関する法制度 マンション建替えの円滑化を図るための法制度について検討した成果の解説。本成果に基づき、マンションの建替えの円滑化等に関する法律が制定され、区分所有法の改正にも反映される予定</p> <p>建替え・改修判断マニュアル マンション管理組合等において建替えか改修かの合意形成を円滑化するため、建物の老朽度等を客観的に判断するためのマニュアルの解説</p> <p>建替え（合意形成・事業手法）マニュアル マンション建替えに至るまでの合意形成の進め方、様々な事業ノウハウ、関連する事業制度等のマニュアルの解説</p>

お申し込み方法 (申込み先着順、定員に達した場合にはその旨お知らせいたします。)

氏名、所属、役職、連絡先をご記入の上、e-mail: us@nilim.go.jp まで送信下さい。

(FAXの方は、下記フォームをご利用下さい。FAX:0298-64-6771)

会社・団体					
所在地					
(フリガナ) 参加者名 氏名		役職			
		役職			
		役職			
TEL		FAX		e-mail	